

ごあいさつ

本年度は戦後70年の節目にあたりますが、当館も昭和27年（1952）、熊本城本丸に開館して以来、63周年を迎えました。

平成26年度は当館の新しい事業として「学校教育支援事業」をスタートしました。この事業の主な取り組みの一つ「ゲストティーチャー派遣授業」は、日頃博物館にお客様をお迎えしている学芸員が、小学校に出向いて主に社会科・理科等の授業に参加し、学習内容の充実を図るとともに学習意欲や学習効果を高めるといえるものです。博物館が所蔵する資料や学芸員の専門的な知識・技能を学校教育の現場に還元することで、博物館と学校との連携を深めていきたいと考えています。

本館はリニューアルの準備のため、平成26年度はプラネタリウム、特別展示室、ロビーのみ部分的開館となりました。特別展示室では当館のほぼ全分野が企画展を開催する珍しい一年にもなり、「のぞいてみよう！身近な草花」（植物）、「南洋への憧れ -熊本博物館収蔵海外資料展-」（民俗）、「ここがおもしろい！昆虫いろいろ」（動物）、「鳩太郎がゆく！-肥後藩土吉田鳩太郎がみた幕末維新-」（歴史）、「江戸の化粧術-武家婚礼化粧道具を中心に-」（美術工芸）、「稲荷山古墳の出土遺物」（考古）、「博物館のお仕事展」（保存科学）、「しってるカイ？くまもとの軟体動物化石展」（地質）の順に開催しました。

また、ロビーでもパネル展示を中心とした企画展、「熊本博物館と黒川紀章」、「藤崎台のクスノキ群」、「特別史跡 熊本城跡」、「熊本城跡と熊本博物館」を開催しました。

おかげさまで各企画展ともご好評をいただき、多くのお客様にご観覧いただきました。心より御礼申し上げます。

今年7月より当館はいよいよリニューアルのため、プラネタリウムを含めて全館休館となります。本リニューアルで博物館機能を更に充実させ、より一層多くのお客様にお楽しみいただける博物館を目指して参ります。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

熊本博物館 館長 原田哲朗

目 次

ごあいさつ 目次

I 学芸活動

1 展示

- (1) 企画展示会（期間など） 1
- (2) ロビー展示会（期間など） 2
- (3) 定例展示会（期間・入場者数など） 2
- (4) 共催展（期間・入場者数など） 2

2 企画展示会・ロビー展示会報告

- (1) 企画展示会 2
- (2) ロビー展示会 8

3 教育普及

- (1) 観察会・見学会 9
- (2) 教室・講座 10
- (3) プラネタリウム 10
- (4) 同好会 13
- (5) ミニ・シンポジウム 13
- (6) 博物館実習生の受け入れ 14
- (7) 各大学等の博物館訪問 14

4 収集保存

- (1) 資料のデータベース化 14
- (2) 寄贈資料 14
- (3) 資料の利用 14
- (4) 資料の保存 17
- (5) 資料整理作業 19

5 報告

- (1) 学校教育支援事業「ゲストティーチャー派遣授業」 19
- (2) 子ども科学・ものづくり教室 26
- (3) 総合的な学習など学校行事と博物館 31
- (4) 学校以外への講師参加 32

(5) ナイス・トライ事業の受け入れ	34
(6) 熊本県公立学校教員短期社会体験研修	34
(7) 教職員研修	34
6 調査・研究及び刊行物	
(1) 調査・研究	34
(2) 刊行物	35
7 活動一覧	
(1) 平成26年度熊本博物館活動概況	36
II 運営	
1 利用状況	38
III 資料	
1 運営組織	39
2 博物館協議会	39
3 熊本博物館のあゆみ	40
4 施設概要	44
IV 調査・研究	
1 藤崎八幡宮跡出土遺物の研究—藤崎台県営野球場とその周辺の遺構の変遷—	47
2 総合博物館における分野融合展示・コラボ企画の試み—考古分野からのアプローチ例—	67
3 ロビー展 熊本博物館と黒川紀章展について	77
4 吉田如雪の明治10年日記について	128 (37)
5 ミニ・シンポジウム 「藤崎八幡宮例大祭とまちづくり」 講演録	158 (7)
6 日本における南洋への関心と、その広がり	164 (1)
V 塚原歴史民俗資料館	
1 概要	
(1) 熊本市塚原歴史民俗資料館のあゆみ・施設概要	165
2 学芸活動	
(1) 展示	167
(2) 教育普及	167
(3) 収集保存	169